

ユーザビリティの高い検索システムを目指して

○南澤 智美・市野 美夏・華房 康憲・齋藤 秀亮（海洋研究開発機構），
安部 文雅（株式会社マリン・ワーク・ジャパン）

JAMSTEC の調査・観測が様々な研究分野や空間的に非常に幅広い領域にわたるため、JAMSTEC のデータ公開サイトやデータベースでは、必要なデータを容易に見つけることが可能なインターフェースを用意する必要がある。地球情報研究センター（DrC）では、これまで JAMSTEC が公開しているデータサイトでどのようなデータが公開されているかを共通のインターフェースから横断的に検索するためのサービスとして、データ検索ポータルを運用してきた。加えて、様々なメタデータスキームを取り扱うことが可能な情報カタログ基盤システムを現在構築中であり、JAMSTEC のデータカタログや物理探査のデータカタログをこのシステムを活用し、公開する予定である。

データ検索ポータルでは観測や調査が実施された測点・測線を、データ種別ごとに地図上に表示し、拡大・縮小、移動させて見ることができる。また地図上で範囲を指定することで、その範囲に含まれるデータリストが表示され、リスト上のリンクからデータ公開サイトへ遷移することができる。

情報カタログ基盤システムは、様々なメタデータスキームに対応することで、中小規模のメタデータセットを検索・公開可能とするシステムである。情報カタログ基盤システムにより、JAMSTEC のデータサイトやデータセットのメタデータを扱う JAMSTEC データカタログと、JAMSTEC で実施した地震探査により得られたデータのメタデータを扱う物理探査データカタログの公開を予定している。

JAMSTEC データカタログでは、データの分野の選択・絞り込みにより、ユーザは目的のデータ公開サイトやデータセットのリストを得ることができ、公開サイトへアクセスすることができる。カテゴリ分類の基準を含むメタデータ標準としては、NASA が運営する「Global Change Master Directory」で使用されている DIF（Directory Interchange Format）を採用している。

物理探査データカタログでは航海番号での絞り込みにより、目当てのデータが公開されているサイトや DrC にて保管しているデータのリストを得ることができる。さらに情報カタログ基盤システムを採用し、検索機能やメタデータ表示機能を充実させ、ユーザビリティの向上につなげる。また前述の検索ポータルと観測位置情報を共有することで、測線からの検索も可能とする予定である。



JAMSTEC データ検索ポータル



情報カタログ基盤システム